

ARTHRAMID® VET

Arthramid® Vet 2.5% PAAG
これからの関節炎治療に

テクニカルサマリー

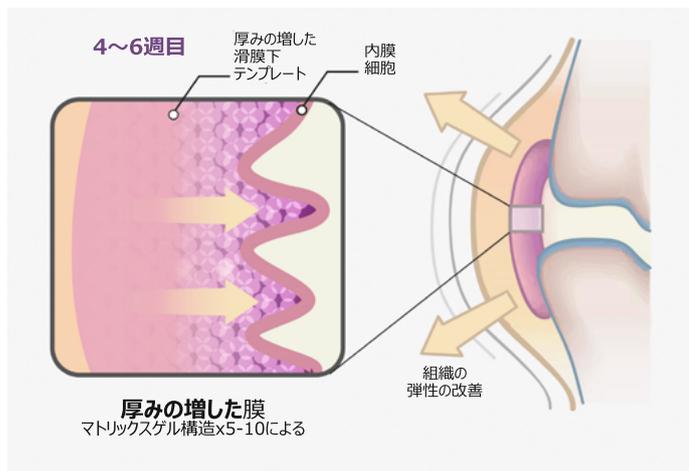
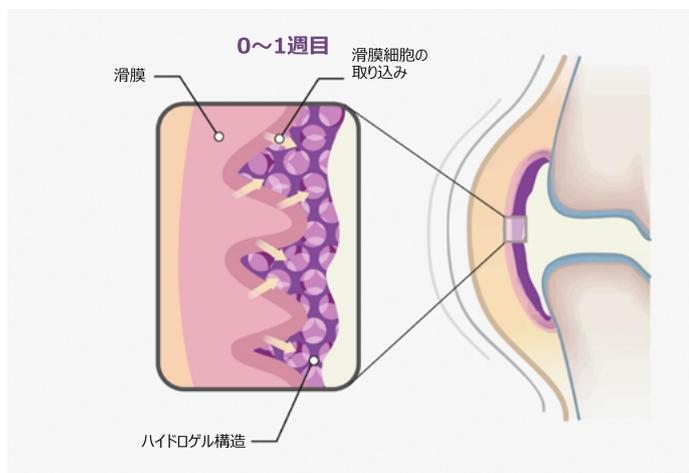
Arthramid® Vet

Arthramid® Vet (アスラミド・ベット) は、革新的で安全な動物関節炎治療を可能にするユニークなハイドロゲル剤です (特許取得済み)。滑膜に確実に作用する治療効果により、関節機能の改善や疾病過程の緩和など、効果的な関節炎管理を行うことができます。



ルアーロック付き殺菌プレフィルドシリンジ (1mL)

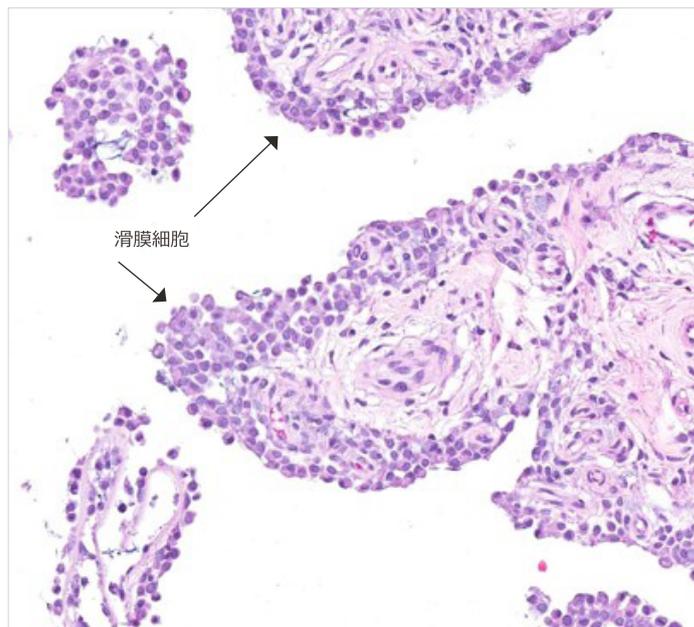
Arthramid® Vetゲル剤は、ポリアクリルアミド (CAS No. 9003-05-8) の架橋重合体の間に水分子を押し込む特許取得済み工程 (架橋結合技術=ILXテクノロジー) により製造。極めて高度かつ不可逆的に分子が安定化され、患部での粘弾性を維持することが可能です。不活性、生物学的適合性、神経に無害といった特徴を有する、薬剤によらない組織足場 (スキャフォールド) 材料です。



作用

Arthramid® Vetは、関節への注射により、滑膜表層に付着し、炎症関節や罹患関節における滑膜細胞の炎症性サイトカインへの曝露を軽減します。

さらに、単核細胞浸潤により、抗炎症性サイトカインの放出を促すことも期待されます (IL-1受容体アンタゴニストタンパク質、形質転換成長因子 - ベータ1、インスリン様成長因子1など)。



滑膜細胞過形成・肥大症状の拡大図 (5歳TB去勢馬、42日; RFC Prox. 20x)。

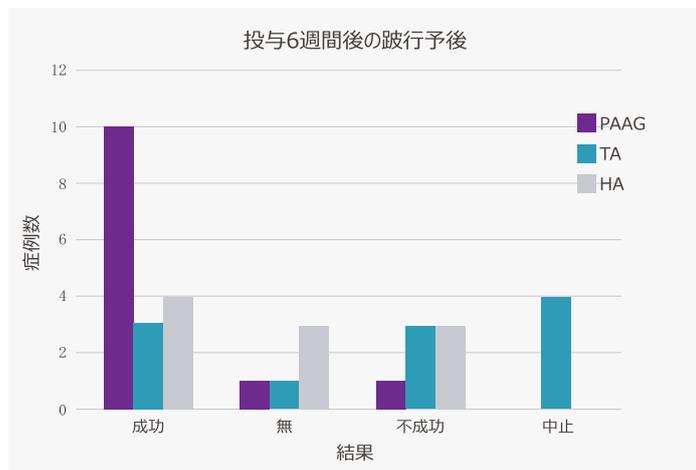
14日から最大42日をかけて、細胞移動と血管内殖により、滑膜と間接包に取り込まれて完全に一体化。新しい過形成滑膜細胞表層に覆われた、血管とコラーゲンの一体化したゲル状物質から成る厚みのあるクッション状の膜を形成します。

「関節包の弾性と抗張力が増加することにより、荷重伝達能力が改善」

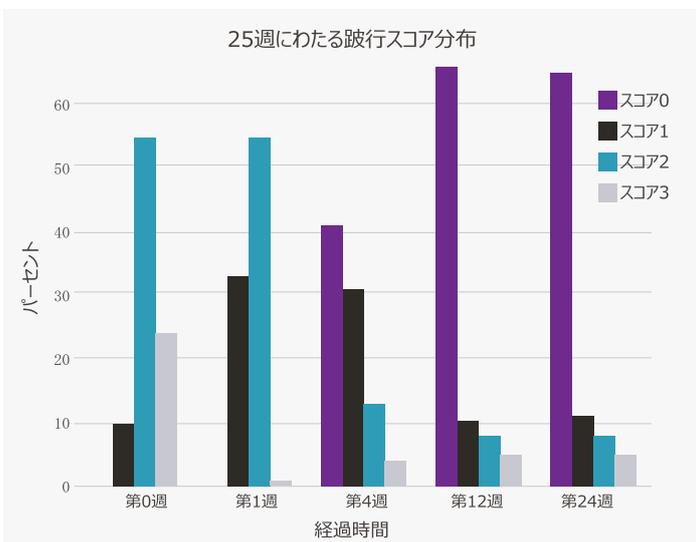
そのため、関節包および滑膜に対し、長期にわたって継続的な増強効果を期待することができます。関節包の弾性と抗張力を増加させることで、荷重伝達能力を改善。その結果、関節包内での力学的受容器や侵害受容器の活性化が抑制されます。新しい過形成滑膜細胞表層の形成により、滑液の質も改善し、これらが同時に生じた際には、滑膜炎に伴う痛みや炎症が緩和され、関節機能が回復します。

臨床効果

ヒトおよび動物を対象とした多数の臨床研究で、82.5%超の効果が確認されるなど、従来の治療法と比較して長続きする優れた効果が証明されています。



馬を対象にした二重盲検・陽性対照試験法による2.5% PAAG、トリアムシロン (TA)、ヒアルロン酸 (HA) の比較調査 (未発表) では、6週間後の経過を観察したところ、Arthramid® Vet投与グループの83.3%で跛行の症状が消失。



起点 (0週目) およびArthramid® Vet投与後1・4・12・24週目の跛行スコア分布では、24週目になってもなお65.3%の馬が跛行症状なし (JEVS 77 (2019) 57-62)。

「従来の治療法と比較して長続きする優れた効果がある」

症例

Arthramid® Vetは、種類を問わず機能不全の臨床的兆候を呈する関節に使用可能 (滲出、屈曲への反応、跛行のほか、放射線・超音波検査・CT・MRIなど機能不全の画像診断法により異常が発見された関節など)。滑膜炎や関節包の硬直など、関節疾病過程のできる限り早期に使用することをお勧めします。

処置後は、48時間安静にする必要があります。その後、低負荷の運動に戻ることができます。治療の効果が見え始めるまでに通常2~4週間かかります。

徐々に跛行の頻度や度合いが減少していき、それと同時に受動的屈曲への反応が少なくなっていきます。4~6週間後にはそれ以上の改善は期待されないため、その時点で再検査を行い、好ましい反応が限定的な場合 (症例中約15%) は再投与を行うか否か、または診断の正誤を再度判断します。

オーナー様には、従来の治療法と異なり効果が表れるまでに上記のようなタイムラグがある旨、理解していただくことが重要です。通常よりも運動量が少ない時期や、トレーニングプログラムの初期の段階において治療を行うようにしてください。

関節の炎症をより速く鎮める必要がある場合、従来のIA薬を使用し、その後2~4週間後*にArthramid® Vetによる治療を行うことで、罹患関節のより長期的な管理を行いやすくします。(※使用するIA薬により異なります)

用量と投与方法

Arthramid® Vetは必ず関節内に注射してください。各関節への注射用量は、疾病の重症度や関節の大きさ、臨床的兆候の時間的な長さにより異なります。以下の推奨用量は、治療に対して観察された臨床効果に基づき、馬用に作成されています:

遠位指節間関節:	1-2mls
近位指節間関節:	1mls
球節:	1~3ml
手根関節:	1~3ml
足根中足関節/遠位足根間関節:	1ml
足根下腿関節	2~3ml
肩関節:	2~3ml
後膝関節:	1-2ml/区画

臨床的に必要と判断された場合、6~12カ月間隔で投与を繰り返すことができます。

ARTHRAMID® VET



当社ホワイトペーパー、ユーザガイドなど、より詳しい情報をお求めの際は、
上記QRコードから、または下記アドレスから当社ウェブサイトへアクセスしてください。
www.arthramid.com.au または www.arthramid.co.nz

オーストラリア:

APVMAの下で登録 (No. 86728/0420)
商品登録先・販売元 IMS Vet Pty Ltd.

+61 (0) 408 899 940
sales@imsvet.com
www.arthramid.com.au

ニュージーランド:

1997年ACVM法に基づき登録 (No. A11596)
商品登録先・販売元 Innovative Medical Solutions Ltd.

+64 (0) 9 8013 253
sales@imsvet.com
www.arthramid.co.nz